

事業活動

■5つの要素からなる「広告活動の健全な発展」の実現を目指す

1. 消費者・生活者に役立つ信頼性の高い情報の提供
2. 一般市民を含む関係者の法的権利の保護
3. アドバイザーの社会的責任・倫理意識の向上
4. 合理的な広告活動モデルの構築
5. 先進的な広告関連情報を国内全域で共有

1.人材育成事業

広告活動の発展を担う人材育成を目指し、最新の情報を提供し経験豊富な講師陣による育成講座を提供した。加えて、Webサイトや広告制作など専門知識の習得や広告・宣伝部門のマネジメントをテーマにセミナーを実施した。

2020年度実績
合計:9講座
のべ参加人数:
719社 1,605人
2019年度実績 合計:13講座/
のべ参加人数:
753社 1,123人

■JAAセミナー

【セミナー委員会】

- ① 「超」基礎講座 オンライン
開催日：2020年8月21日、11月10日
参加人数：139社 223名
- ② 実践広告塾 オンライン(10/2のみ会場にて開催)
開催日：2020年8月4-5日、8月27-28日、9月10-11日、10月1-2日
参加人数：20社 32名
- ③ “新任広告宣伝課長勉強会&情報交換会” オンライン
開催日：2020年12月3日
参加人数：10社 10名
- ④ “新任広告宣伝部長勉強会&情報交換会” オンライン
開催日：2020年11月11日
参加人数：8社 8名
- ⑤ 新型コロナウイルス対応情報共有ミーティング オンライン
開催日：2020年4月17日、5月28日
参加人数：15社 15名

【クリエイティブ委員会】

- ⑥ 2020 クリエーティブ塾 オンライン
開催日：2020年9月18日、10月15日、11月13日、12月17日
参加人数：96社 96名

【広告取引委員会】

- ⑦ 聞いたその日から役に立つ！広告制作に関する法規制セミナー オンライン
開催日：2020年10月6日、10月19日、11月5日、11月19日、12月4日
参加人数：279社 446名

【チャレンジアワード委員会】

⑧ チャレンジアワード 最終審査会 オンライン

開催日：2020年10月14日 「Advertising Week 2020 : Asia」にて配信

参加人数：520名

【Web広告研究会】

⑨ Web担当者基礎講座 オンライン

「企業Web担当者の身につけるべき知識・ノウハウを一連の業務に沿って構成し、基礎レベルから学べる講座」

開催日：2020年8月19日、8月26日、9月2日、9月9日

実施概要：『サイト要件定義～実装、運用、広告、コンプライアンス』

参加人数：152社 255名

Topics
of the Year

2020年度のトピックス

広告関係3団体で「JICDAQ 宣言」を発表

JAA は2020年12月、一般社団法人日本広告業協会、一般社団法人日本インタラクティブ広告協会と共同で、デジタル広告の品質を第三者認証する機構「JICDAQ (正式名称：一般社団法人 デジタル広告品質認証機構)」の設立を決意し、「JICDAQ 宣言」を発表しました。

「デジタル広告の品質の確保に関する取組の認証を行い、品質の向上及び改善並びに公正な広告活動を支援し、デジタル広告市場の健全な発展に寄与すること」を目的に、2021年3月に設立予定の JICDAQ では、デジタル広告の品質課題のうち、まずは「アドフraudを含む無効配信の除外」と「広告掲載先品質に伴うブランドセーフティの確保」の品質認証に取り組めます。各団体では引き続きデジタル広告の健全な発展に尽力すると同時に、JICDAQ を軸に協力してデジタル広告の品質向上に取り組んでいきます。

JAA

JAAA
Japan Advertising Agencies Association

ji
Japan Interactive Advertising Association

Topics
of the Year

2020年度のトピックス

協会の活動強化に向けてプロジェクトを立ち上げ検討

2021年1月の会費改定にあたり、それに見合う価値を会員社に提供すべく、丸山哲朗リーダー（パナソニック）のもとプロジェクトを立ち上げ、1年間かけて強化策を検討しました。

会員アンケートを実施し、協会への期待などを整理し、1. コミュニケーション戦略等への取り組み、2. 人材育成の強化、3. クリエイティブ領域の取り組み強化など、活動に関する課題と、1. 協会活動のPR強化、2. ネットワーキングの機会充実など、運営に関する課題のそれぞれについて、強化策を検討。これに伴い、2021年春より新規プロジェクトを立ち上げ、委員会体制を見直すなど、社会の変化に対応した組織づくりに尽力しました。

事業活動

2. 調査研究事業

媒体毎の課題、広告効果の把握、ダイバーシティをはじめとした社会課題等に関する包括的な調査研究を実施し、アドバイザーをはじめとする関係機関・団体との最新情報の共有を促進した。

【電波委員会】

- ① 字幕付きCMの普及促進に向けた取り組み
字幕付きCM普及促進協議会の幹事団体として、推進に向け調査研究を進め、ロードマップを作成。
10月にはオンラインで日本広告業協会・日本民間放送連盟とともに字幕付きCM普及に向けたセミナーを開催し、これまでの研究成果の共有を図った。
- ② テレビスポット取引におけるデータ整備に関する取り組み
各ステークホルダーと取引指標となる視聴率データに関する意見交換を積極的に行うとともに、特にコロナ禍における視聴の変化などについての研究を行った。
- ③ 有事対応に向けた取り組み
有事の定義に対する考え方や、自社都合以外でCMを差し換えざるを得ないような状況が発生した際に、どのような対応が可能かについて調査研究を行った。
- ④ CM考査に関する取り組み
放送局のCM考査に関するアドバイザーの要望を調査し、課題となる問題等について放送局や広告会社と意見交換を行った。

【雑誌委員会】

- ⑤ M-VALUEの雑誌広告活用に向けた取り組み
雑誌広告の効果を計る調査プラットフォームである「M-VALUE」について、調査プロジェクトのメンバーと活用促進に向けた研究を行った。

【SP委員会】

- ⑥ 屋外広告の媒体価値向上に向けた取り組み
コロナ禍において交通量が著しく減少している中で、屋外広告の媒体価値の見直しやそれを説明できるようなデータの整備などについて、ステーク・ホルダーと調査研究を行った。

【デジタルメディア委員会】

- ⑦ 「違法コンテンツへの広告出稿抑制に関する合同会議」参加
コンテンツ海外流通促進機構(CODA)・日本広告業協会(JAAA)・日本インタラクティブ広告協会(JIAA)との合同会議に参加し、違法コンテンツへの広告出稿の抑制について研究を行った。
- ⑧ デジタル広告市場の健全化に向けた取り組み
JAAA・JIAAとともに、デジタル広告の課題解決に向けて定期的な協議を行った。とりわけ、アドフraud(広告詐欺)、ブランド毀損等の品質課題に対しては品質保証のための認証組織を立ち上げるべく調査研究を行った。

【ダイバーシティ委員会】

- ⑨ ダイバーシティに関する取り組み
2月にUN Women(国連女性機関)のUnstereotype Alliance日本支部設立に参画し、海外の情報収集に努めた。また、米国を中心に盛り上がりを見せるBLM(Black Lives Matter)について、その背景や広告表現上の注意点などの研究を行った。

【セミナー委員会】

⑩ JAAミーティングの実施

様々なテーマでミーティングを実施し、アドバイザーの直近の課題について調査研究を進めた。その内容は各委員会において概要報告を行うなど、協会活動に反映させた。

- ① 宣伝と広報の連携を深め、コミュニケーション戦略を最適化する
～果たして広告効果は上げられるのか～

開催日：2020年1月22日

参加人数：14社 15名

- ② “企業ブランディングとニューノーマル時代のイベントプロモーション”

開催日：2020年9月9日

参加人数：12社 13名

- ③ “コロナ影響下での広報活動”

開催日：2020年9月17日

参加人数：12社 13名

- ④ “プレミアムブランドのデジタルマーケティング”

開催日：2020年10月6日

参加人数：8社 8名

- ⑤ “製品ブランド戦略におけるスポーツマーケティングの役割と効果”

開催日：2020年11月5日

参加人数：10社 10名

- ⑥ “BtoB企業の広告コミュニケーション”

開催日：2020年11月24日

参加人数：7社 7名

Topics
of the Year

2020年度のトピックス

Unstereotype Alliance 日本支部に創設メンバーとして参画

2020年5月15日に発足したUN Women（国連女性機関）によるSDGsの5番目の目標である「ジェンダー平等の実現」を目指す国際的なプロジェクト「Unstereotype Alliance 日本支部」（メディアと広告におけるジェンダー視点での固定概念を撤廃するための基盤）に、創設メンバーとして参画しました。

JAAでは今後、ダイバーシティ委員会（幼方聡子委員長）を中心にセミナー等を通じ、広告における有害なジェンダーのステレオタイプや、アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）を排除し、アドバイザーの進歩的で固定観念を打破する広告活動を啓発・推進していきます。



事業活動

3.表彰事業

先進的な取り組みや建設的な企業・団体・個人に対して表彰する。

① JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール

実施概要：生活者視点から評価した優れた広告を表彰するとともに
時代に即したコミュニケーションのあり方を模索することで、
広告の健全な発展に寄与することを目指した広告賞。



消費者が選んだ
広告コンクール



コロナ禍の感染拡大の状況を踏まえ2020年2月の表彰会及び2020年度の募集を中止した。表彰会に代わりWebサイト上にスペシャルサイトを立ち上げ、2019年度のJAA賞グランプリ、ベストパートナー賞、経済産業大臣賞の受賞インタビューを動画配信し、受賞社の栄誉を称えるとともに、JAA広告賞の意義を幅広く伝えることとした。

入賞作品 JAA賞グランプリ

新聞広告部門 味の素株式会社

非常においしく食べられます。

味の素株式会社
執行役員
森島 千佳氏



雑誌広告部門 味の素株式会社

シニアこそ、お肉。

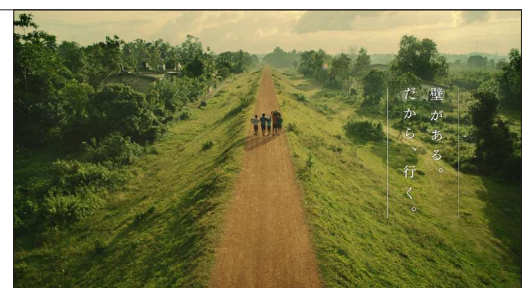
味の素株式会社
広告部 シニアマネージャー
原口 智氏



テレビ広告部門 株式会社クボタ

壁がある。だから、行く。『Try For Dreams.』篇

株式会社クボタ
コーポレート・コミュニケーション部長
細谷 祥久氏



ラジオ広告部門 パナソニック株式会社

温度を聞く

パナソニック株式会社
コンシューマーマーケティング
ジャパン本部
コミュニケーション部長
岡山 晃久氏



SE : ガチャ(室内の扉)

夫 : はあはあ、ただいま。

妻 : あら、ランニング?

夫 : うん、健康のためにね。ちょっと水、水ちょうだい。

妻 : はいはい。

SE : …コポコポコポコポコポコポオ〜(お湯を注ぐ音)

夫 : ねえ…それ、お湯だよな…。

妻 : いいじゃない、お湯でも水でも。

これラジオCMなんだし、わかりやしないって。

デジタル広告部門 東日本高速道路株式会社

父と母の卒業旅行 〜The Last Long Drive〜

東日本高速道路株式会社
取締役 兼 常務執行役員
管理事業本部長
高橋 知道氏



屋外・交通広告部門 南海電気鉄道株式会社

世界初!?で超めでたい!
電車の夫婦にこどもが誕生

南海電気鉄道株式会社
取締役常務執行役員
梶谷 知志氏



入賞作品 経済産業大臣賞

テレビ広告部門 東海テレビ放送株式会社

見えない障害と生きる。

東海テレビ放送株式会社
報道局報道部記者・ディレクター
桑山 知之氏



事業活動

② Webグランプリ贈賞式 オンライン

実施概要：Webサイトの健全な発展を目指すとともに、Webユーザーの利便性向上に優れた功績を残した企業および人物を顕彰しその労と成果を表彰

【応募期間】2020年8月1日～8月31日

【贈 賞 式】2021年1月13日 オンライン配信

対象部門 企業グランプリ部門

【企業 B to B サイト賞】

合言葉はがまんしない! ホップ☆ステップきとみちゃん
(サイボウズ株式会社)



【プロモーションサイト賞】

牡蠣食う研
(一般社団法人広島県観光連盟
制作パートナー:株式会社博報堂ケトル/空気株式会社)



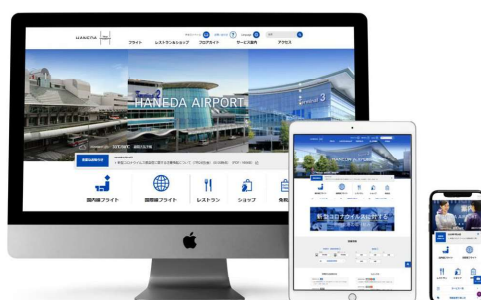
【コーポレートサイト賞】

Fontworks コーポレートサイト
(フォントワークス株式会社
制作パートナー:株式会社日本デザインセンター)



【企業 B to C サイト賞】

羽田空港旅客ターミナルサイト
(日本空港ビルディング株式会社/
東京国際空港ターミナル株式会社
制作パートナー:ネットイヤーグループ株式会社)



【アクセシビリティ賞】

「がいし」とは (日本ガイシ株式会社)



対象部門 Web人部門

【Web人大賞】

宮坂 学氏(東京都副知事)
関 治之氏(コード・フォー・ジャパン)

【Web人賞】

秋元 里奈氏(株式会社ビビッドガーデン)
中村 利江氏(株式会社出前館)
藤井 保文氏(株式会社ビービット)
藤代 裕之氏(法政大学)
楊井 人文氏(特定非営利活動法人 ファクトチェック・イニシアティブ)

③ JAAチャレンジアワード

45年間続いたJAA広告論文賞が「JAAチャレンジアワード」と名称を変え、内容も従来の論文形式から応募者が主体的に取り組んだ“チャレンジ”から得られた学びや、イノベーションにつながる提言を広く募集し、取り組み事例の規模や成否にとらわれずに、課題や社会課題の解決につながるクリエイティブなアイデアを出した応募者を表彰するアワードに刷新した。本年度第1回開催はコロナ禍の感染拡大により中止となったが、中止決定以前に応募があった作品を対象にプレイベントを実施した。最終審査及び審査結果発表の様子はアドウィーク・アジアのプログラムの一部として世界中に配信された。なお、最終審査結果は以下の通り。



【チャレンジ賞】

「企業公式バーチャルユーチューバーを通じた新しいコミュニケーションのあり方への挑戦」

前田 真太郎氏
(サントリーコミュニケーションズ株式会社)



【優秀賞】

「潜在する“根源欲求”を捉えたマーケティングへの革新」

南 暁氏
(ライオン株式会社)



「テレビ番組提供の価値創造とデジタルのシナジーバリュー」

海鋒 嗣美氏
(日産自動車株式会社)



Topics
of the Year

2020年度のトピックス

AWAとJAAチャレンジアワードのコラボレーション

ニューヨーク、ロンドンをはじめとした世界6大陸で開催されている、世界最大級のマーケティング&コミュニケーションのプレミアイベント Advertising Week (アドバタイジング・ウィーク) は、2020年のコロナ禍のなか、オンラインにての“世界・同時開催”を実施しました。

5年目のアジア版は日本を中心に Advertising Week 2020: Asia (アドバタイジング・ウィーク 2020 アジア) として、オンラインにて、10月14日(水)～15日(木)の2日間開催し、JAAチャレンジアワードの最終審査の様子が1セッションとして全世界に配信され好評を博しました。



登壇者			
			
Tamaki Sawamura Vice President Allianz Life Insurance Japan Ltd. Speaker	Tsugumi Kaihoku Nissan Motor Co., Ltd. Speaker	Shintaro Maeda Suntory Communications Ltd. Speaker	Satoru Minami Lion Corporation Speaker

事業活動

4.啓発普及事業

広告活動に関する最新情報を関係機関・団体の取り組みとともに共有し、各社の事業活動に反映すべく、幅広い領域の事象についてセミナー等を開催した。

2020年度実績
合計:27講座
のべ参加人数:
1,641社 3,047人
Facebook再生回数
10,179回

2019年度実績 合計: 31講座/
のべ参加人数:
1,542社3,503名

■JAAセミナー

【電波委員会】

- ① “テレビ広告の新フェーズ
～『枠ファインダ』を使った新たな取引『SAS(スマート アド セールス)』とは～”
開 催 日 : 2020年2月12日
参加人数 : 63社 93名
- ② 第6回字幕付きCMセミナー(東京)-字幕付きCM普及推進協議会
開 催 日 : 2020年10月13日
参加人数 : 490名
- ③ “テレビの今を知る!
～VR視聴率の実践活用、TVer配信のこれから、テレビCMの放送確認～”
開 催 日 : 2020年10月22日
参加人数 : 75社 118名
- ④ “テレビ・ラジオの今を知る!
～ラジオの使い方、テレビの効果、字幕付きCMの具体的解説～”
開 催 日 : 2020年11月19日
参加人数 : 43社 68名

【新聞委員会】

- ⑤ “情報戦略の起点となる新聞 ～新聞社力+デジタルで、広告主の課題ソリューションに～”
開 催 日 : 2020年1月27日
参加人数 : 59社 100名
- ⑥ “新聞媒体を活用したメディアミックスの考え方”
開 催 日 : 2020年9月23日
参加人数 : 58社 75名
- ⑦ “Withコロナ時代の新聞広告活用事例、今後の展望ほか”
開 催 日 : 2020年12月15日
参加人数 : 55社 80名

【雑誌委員会】

- ⑧ “「ニューノーマル時代の雑誌DX」
～コロナをきっかけに進化し続ける、雑誌活用ソリューション～”

開催日：2020年10月12日

参加人数：58社 75名

- ⑨ “世界文化社のデジタル戦略とコンテンツビジネス事例”

開催日：2020年12月1日

参加人数：51社 80名

【SP委員会】

- ⑩ “OOH広告の現在と新たな価値創造に向けて”

開催日：2020年11月16日

参加人数：37社 56名

【広告取引委員会】

- ⑪ “広告法務セミナー”

開催日：2020年12月23日

参加人数：70社 307名

【デジタルメディア委員会】

- ⑫ “デジタル広告の健全化へ向けた、その対応の現在”

開催日：2020年11月11日

参加人数：37社 78名

- ⑬ “デジタル広告品質の向上へ向けて ～JICDAQの仕組みと、広告主の意識～”

開催日：2020年12月8日

参加人数：40社 54名

【ダイバーシティ委員会】

- ⑭ “ダイバーシティ社会とこれからの広告コミュニケーション”

開催日：2020年7月29日

参加人数：44社 62名

【ダイバーシティ委員会/クリエイティブ委員会】

- ⑮ “「クリエイティブ目線から見るこれからのダイバーシティ&インクルージョン」”

開催日：2020年12月3日

参加人数：30社 55名

【国際委員会】

- ⑯ “グローバル視点での広告コミュニケーション”

開催日：2020年10月26日

参加人数：41社 58名

事業活動

【Web広告研究会】

⑰ “第34回WABフォーラム”

開催日：2020年5月26日

参加人数：74社 89名 (Facebook再生回数 634回)

⑱ “コミュニケーションプランニング委員会セミナー ニューノーマル時代のマーケティング～やってみたらこうなった～”

開催日：2020年5月28日

参加人数：95社 128名 (Facebook再生回数 60回)

⑲ “ネット広告健全化プロジェクトセミナー アドベリフィケーション・ビフォーアフター”

開催日：2020年7月6日

参加人数：76社 93名 (Facebook再生回数 2820回)

⑳ “月例セミナー 複雑なデジタル広告、発注する側として最低限知っておくべきこと～ネット広告の仕組み～”

開催日：2020年7月28日

参加人数：84社 109名 (Facebook再生回数 492回)

㉑ “Webグランプリフォーラムセミナー”

開催日：2020年8月25日

参加人数：74社 89名

㉒ “モバイル委員会ウェビナー これからのマーケターが見るべき領域とは何か?”

開催日：2020年8月26日

参加人数：60社 73名

㉓ “B2Bマーケティング委員会セミナー 企業にマーケティング思考を取り込む、この絶好のゲームチェンジの機会に何をするか”

開催日：2020年9月4日

参加人数：53社 67名 (Facebook再生回数 1589回)

㉔ “月例セミナー 改正個人情報保護法とプライバシーガバナンス”

開催日：2020年9月29日

参加人数：62社 96名 (Facebook再生回数 2835回)

㉕ “月例セミナー

マーケターに知ってもらいたい。テクノロジーの進展や5Gが事業創造やコミュニケーションに与える影響とは?”

開催日：2020年10月27日

参加人数：65社 89名

㉖ “月例セミナー Podcastなど急成長を見せる音声メディア、「今の流れ」と「できること」”

開催日：2020年11月24日

参加人数：77社 116名 (Facebook再生回数 890回)

㉗ “月例セミナー 2020まとめ Web研ミニセッション集&Web研からの発表”

開催日：2020年12月14日

参加人数：160社 249名 (Facebook再生回数 859回)

5.相談助言事業

生活者とのコミュニケーション改善のため、各社と課題を共有するとともに下記の事項に的確な助言対応を実施した。

- 広告取引の改善について
- テレビ広告への出稿について
- スポーツイベントへの協賛について
- コロナ禍の広告出稿について など

6.他団体への支援連携事業

アドバイザーを会員として構成する団体として、広告活動の健全な発展を目指すための政策提言を幅広く発信し、加えて、技術革新とともに変貌する課題とビジネスモデルの成果を幅広いステーク・ホルダーと享受すべく、多様な連携事業を推進した。

- ① 日本広告業協会（JAAA）、日本インタラクティブ広告協会（JIAA）などと連携による、アドベリフィケーションのための品質認証組織の立ち上げ
- ② CODA（コンテンツ海外流通促進機構）、JAAA、JIAA などと連携し、「著作権侵害に関する要警戒リスト（サイト、アプリ）」の共有により違法コンテンツへの広告出稿を抑制
- ③ 日本民間放送連盟、JAAA と連携し、字幕付き CM の普及推進
- ④ UN Women（国連女性機関）と連携した「Unstereotype Alliance 日本支部」創設メンバーとして広告表現のジェンダー視点でのダイバーシティを研究 第1回日経ウーマンエンパワーメント広告賞への協力・審査員派遣
- ⑤ 日本広告学会への支援
2020年10月23日～25日に第51回日本広告学会全国大会が「スポーツと広告—スポーツ×広告、スポーツ×マーケティングの可能性を検証する—」をテーマに、江戸川大学にて開催された。当協会の常任理事である片上崇氏（味の素株式会社理事広告部長兼オリンピック・パラリンピック推進室長）が登壇し、基調講演「味の素株式会社のスポーツ支援活動と企業コミュニケーション」を行った。また、同氏は同日に開催されたシンポジウムにおいても、為末大氏（一般社団法人アスリートソサエティ代表理事）、石崎徹氏（専修大学）、佐藤達郎氏（多摩美術大学）とともにパネリストとして登壇し、活発な議論を展開した。
- ⑥ 内閣官房デジタル市場競争本部
デジタル広告についてのアンケート、ヒアリングへの協力

7.広報事業

協会の活動状況や研究成果を広く告知するため、Web サイト（<http://www.jaa.or.jp>, <https://www.wab.ne.jp>）を積極活用すると共に会報誌『月刊 JAA』を発行し、会員社のみならず幅広く関係団体、さらには生活者との情報共有を推進するために広報活動を実施した。

■ 事業報告の附属明細書

重要な事項は、事業報告に記載した。